

鹿屋市議会議長
花牟礼 薫 様

班代表者

吉岡 鳴人

議会報告会実施結果報告書

開催日時	令和 6 年 10 月 25 日 金曜日 19 時 00 分～20 時 30 分			
開催場所	輝北コミュニティセンター			
出席議員	班代表者	吉岡 鳴人	報告者	川崎 勝
	記録者	中馬 美樹郎 ・ 岩松 近俊		
	梶原 正憲	花牟礼 薫	今村 光春	
	時吉 茂治	泊 義秋		
参加人数	3 1 人 (議員 9 名・事務局 3 名を含む)			
議会報告 の概要	1 議会の仕組み 2 総務市民環境委員会について 3 本年度の総務市民環境委員会の経過について			
主な意見 ・ 要望	【輝北地区の人口減少について】 ○ 昔行政に勤めており、企業誘致に取り組んだことがあるが、桜島が近く降灰の問題があること、また、高速道路もなく交通に不便があることから当時なかなかうまくいかなかった。合併前に、市町村間を結ぶ道路を整備するような話もあったが、進んでいないように感じる。道路整備が進まなければ企業誘致は難しく、人口増にも繋がらないのではないかと思います。 ○ 天気予報の桜島の降灰予想でよく「鹿屋市輝北方向」という言葉が使われており、あれを見れば、「輝北は灰が降る場所」だというイメージがつく人も多いと思う。「鹿屋市北部方向」などという言い方にしてもらいたい働きかけは何かできないものか。 ○ 小さい自治会が多く、自治会の統廃合が必要でないかと考える。役員のなり手不足問題もあり、隣接した自治会同士で話し合いを持ったかどうかと思う。 ○ 先日、輝北町市成で、子どもを養育するファミリーホームが開設されたという新聞報道を見た。里親のような制度である。非常に明るいニュースだと思う。周辺の道路を整備してあげるなど、そういう取組をもっと市でも応援してあげてほしい。 ○ 輝北は働く場所が限られていると思う。自分が住む地区のほとんどは農家である。クラスター事業にテコ入れして、個人企業主や農家をもっとバックアップしてもらえれば雇用機会の創出にもつながるのではないかと思います。			

【輝北地区の消防分団について】

- 消防団員にはこれまで費用弁償で 5,000 円/回支払われていたが、報酬として出動時に 8,000 円支払われることになり、源泉徴収対象になった。金額的には増えたが、お金が個人口座に振り込まれることになり、分団運営に係る経費等を差し引いて各分団員に支給するようなことができなくなった。お金を徴収するのが難しいという声も上がっている。現場に向かう燃料代や活動中のお茶代などの経費を、分団の運営経費として市から分団に支給することができないか。
- 分団は飲み会が多いと揶揄されることもあるが、みんな自分の仕事を休むなどしてボランティアで活動に参加するわけで、分団運営は絆づくりが大事である。親睦を深め、仲間意識を強くするための活動は必要なことだと思う。
- 団員の活動・結束力は地域の力になっている。地域のリーダーを育てる意味でも後援会として応援したい気持ちは大いにあるいが、地域の高齢化も進み、金銭的な事情から後援会を払えないような人も出てきているのが現状である。地域の力が弱ってきている今、団員の育成のためにも行政から運営費を出してあげてほしい。
- 後援会長の年俸も自ら削り、10 年前からすると 1/2 まで下げながらも分団に助成をしているところである。
- 曾於市では分団の運営費を市から支給しているという話をきいた。分団に 50,000 円、団員に 5,000 円支給しているというような話だった。近隣市町の状況もきいてみてぜひ検討してほしい。
- 操法大会がとても意義のある大会であることは理解しているが、訓練の時間が確保できないなどの理由で苦慮している現状もある。揃えなければならぬ服や靴なども自分たちがもらった報酬で購入していることから、運営経費だけでも支援してほしい。

【その他】

- 有害鳥獣対策について、畑や田んぼに電気柵などを整備してもらっているが、これはあくまでも「入ってこないように」という対策であり、抜本的な対策ではないと思う。鳥獣に遭遇したこともあり、人的な被害も心配であることから、鳥獣の捕獲について何か良い策などないものか。